

(保育所版)

(別記)

福祉サービス第三者評価結果公表事項

①第三者評価機関名

社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会

②施設・事業所情報

名称：くるみ保育園	種別：保育所	
代表者氏名：園長 宮崎 文	定員（利用人数）： 80（86）名	
所在地：愛媛県喜多郡内子町平岡甲416番地		
TEL：0893-44-2281	ホームページ： https://www.town.uchiko.ehime.jp/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 昭和29年12月17日（平成21年4月1日内子町より移管）		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 内子町社会福祉協議会		
職員数	常勤職員： 17名 非常勤職員 5名	
専門職員	（専門職の名称） 名	
	保育士 19名 栄養士 1名	
	調理師 3名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	保育室7・遊戯室・調理室	木造平屋建て

③理念・基本方針

<理念>

子ども一人ひとりを大切にし、保護者からも信頼され、地域に愛される保育園を目指す。

<基本方針>

心と身体の自立を促す保育

④施設・事業所の特徴的な取組

木の温もりのある園舎は、豊かな自然環境に恵まれ、ゆったりとした穏やかな雰囲気を感じさせる。平成21年に内子町から社会福祉法人内子町社会福祉協議会に移管され、0・1歳児の積極的な受入れなど、地域の保育ニーズに応えている。

地域に根ざした保育園として、年間を通して地域の行事等に参加し、地域住民との交流を深めている。

(保育所版)

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和元年5月9日（契約日） ～ 令和元年10月3日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（平成23年度）

⑥ 総評

◇特に評価の高い点

平成21年に内子町から移管した後は、基本理念に基づき、園長を中心に全職員が日々の保育の振り返りや園内研修等を通して、一人ひとりの子どもを尊重した保育の理解に努めながら保育の質の向上に取り組んでいる。また、地域の保育ニーズに応じて、1歳児の積極的な受入れなど民間保育所ならではの柔軟な対応に努めると同時に、地域との交流や未就園児のいる家庭に向けた園開放等を行い、地域に根ざし愛される保育園づくりに取り組んでいる。

◇改善を求められる点

園全体での評価体制を整備し、自己評価や第三者評価結果に基づく課題の分析や改善への取り組みが主体的・計画的・継続的に行われ、保育の質の向上への取り組みにつながっていくことを期待したい。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価受審にあたり、職員一人一人の自己評価をもとに園全体としての振り返りができ、大変良い機会をいただきました。保護者アンケートや自己評価、また今回いただきました評価結果に基づき自園の良い点、改善点等について、全職員で分析や検討を重ね、課題を明確にし、今後さらによりよい保育運営の充実を図っていきたいと思います。

法人とも密接な連携の下、これからも子ども一人一人を大切にし、保護者からも信頼され、地域に愛される保育園を目指していきたいと思います。

⑧ 第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

第三者評価結果

※すべての評価細目について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	Ⓐ・b・c
<コメント> 理念・基本方針が明文化され、職員や保護者等に周知が図られている。		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・Ⓑ・c
<コメント> 法人や自治体と連携を図りながら、事業の動向や保育ニーズ等の把握に努めている。今後の経営状況に関する把握・分析の取組みに期待したい。		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a・Ⓑ・c
<コメント> 経営状況や経営課題を職員に周知するとともに、法人と連携した経営課題に対する具体的な取組みに期待したい。		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・Ⓑ・c
<コメント> 今回、園長を中心に中・長期的なビジョンや方向性を明確にした園の中・長期計画が策定され、職員にも周知されている。今後、具体的な数値目標や成果等を設定し、実施状況の評価・見直しを期待したい。		

(保育所版)

5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>中・長期計画に基づいた単年度の計画が策定され、職員にも周知されている。今後、具体的な数値目標等を設定した計画の策定を期待したい。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>今年度から事業計画を策定し、実施状況の把握や評価・見直しについて、組織的に進めるよう体制の整備を進めている。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>保護者等に口頭で事業計画を周知している。今後は、より丁寧でわかりやすい説明の工夫を期待したい。</p>		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>個々の職員による定期的な自己評価が行われている。今後、園全体での評価体制を整備し、保育の質の向上に向けた取組みを期待したい。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果に基づき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>今回の第三者評価受審を機に、自己評価から抽出した課題や個々の気づきについて、職員会で共有化が図られている。今後、自己評価や第三者評価結果に基づく課題の分析や改善への取組みが、計画的・継続的に行われることを期待したい。</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	Ⓐ・b・c
<p><コメント></p> <p>園長の役割と責任を明確にし、職員にも適切に伝えている。有事における園長の役割と責任や不在時の権限委任等も明確にしている。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・Ⓑ・c
<p><コメント></p> <p>園長は、遵守すべき法令等に関する研修や勉強会等に参加し、正しい理解に向けた取組を行っている。今後は、環境への配慮等も含む幅広い分野についての法令等も把握し、職員への周知や職員が十分に理解できるための取組を期待したい。</p>		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	Ⓐ・b・c
<p><コメント></p> <p>職員会や各担当部会で、保育の質について振り返りや評価・分析を行う取組を実践している。また、年間を通して保育の質の向上について職員研修等の充実を図っている。</p>		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a・Ⓑ・c
<p><コメント></p> <p>業務内容の分析や人員配置等の工夫に努めている。今後は、理念・基本方針の実現に向けて人事・労務・財務等、多角的な視点から検証し、職員全体で経営の改善や効果的な業務の実現を目指すための具体的な体制の構築を期待したい。</p>		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・Ⓑ・c
<p><コメント></p> <p>理念・基本方針、事業計画を実現するための必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や人材確保・育成に関する方針が明確にされている。今後、法人と連携し、組織としての具体的な計画の策定を期待したい。</p>		

15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>園としての「期待する職員像」が明確にされている。総合的な人事管理のもと、職員一人ひとりが自らの将来を描きながら、キャリアを重ねていける仕組みづくりを期待したい。</p>		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>働きやすい職場づくりに向けて、職員の就業状況や意向を定期的に把握する仕組みがある。その結果の分析・検討を行い、法人と連携し、組織としてのサポート体制づくりや組織の魅力を高める具体的な取組みを期待したい。</p>		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>職員一人ひとりの目標設定や評価・振り返りが行われ、面談等で確認が行われている。今後、職員個々の目標管理について組織としての仕組みづくりを期待したい。</p>		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>職員のキャリア等に応じた体系的な研修計画が策定され、計画的に実施されている。</p>		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>職員の知識や技術・経験等に応じて、研修の機会が確保されている。</p>		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>養成校と連携し、主任保育士を中心にマニュアルに沿った実習生の受入れを行い、積極的な教育・育成に取り組んでいる。</p>		

II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>法人の理念・基本方針がホームページ等に明示され、園便り等を地域に配布し保育園活動の周知が図られている。今後は、保育内容や事業計画・事業報告の公開と予算・決算情報の更新に取り組むことに期待したい。</p>		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>法人内の監査を行い、経営改善に努めている。今後は、経営の透明性を確保するための外部監査の実施を期待したい。</p>		

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>内子町全体で取り組んでいる環境活動の一環で、地域にある歯ブラシ工場や浄化センター、貯水池等の見学に出掛けている。また、園行事等への参加を地域へ呼びかける案内を行い、地域住民との交流を積極的に行い、未就園児のいる家庭へ向けた園開放なども行っている。</p>		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>ボランティア受入れマニュアルに基づき、主任保育士を窓口として、積極的な受入れを行っている。</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>必要な社会資源を明示したリストや資料を作成して、職員に周知している。よりよい保育を提供するために、日頃からネットワークづくりを心がけ、適切な連携がとれる体制を整備している。</p>		

Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a・b・c
<コメント> 定期的に地域の評議員会に出席したり、保育ニーズ調査等で地域の福祉ニーズを把握するための取組を行っている。		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等に基づく公益的な事業・活動が行われている。	a・b・c
<コメント> 地域の未就園児のいる家庭に向けて、定期的な園開放を行い、園児との交流や保護者からの相談に応じる等の子育て支援を行っている。		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・b・c
<コメント> 保育理念に「一人ひとりを大切に」という子どもを尊重した保育の基本姿勢を明示している。一人ひとりの子どもを尊重する保育について園内での共通理解をもつために、人権擁護のためのセルフチェックリストを活用して振り返りを行う等、積極的な取組を行っている。		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a・b・c
<コメント> 子どものプライバシー保護に関する規程・マニュアルが整備され、職員間で共有している。標準的な実施方法に基づき、プライバシーに配慮した具体的な取組が行われている。		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a・b・c
<コメント> 利用希望者に対して、見学の随時対応や案内資料を配布する等、積極的な情報提供を行い、個別の丁寧な説明や対応に努めている。		

31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>利用者等の意向を十分に配慮して、入園のしおりや重要事項説明書等を活用し、丁寧でわかりやすい説明を行っている。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>転園・退園後は、口頭での引き継ぎや保護者等が相談できるように声かけを行っている。今後は、保育の継続性に配慮した手順や引き継ぎの文書化を期待したい。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取り組んでいる。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>日常の連絡や懇談会・保護者会、保護者アンケート、意見箱の設置等、様々な機会を通して、意見や要望等の把握に努めている。利用者満足に対する職員の意識を向上させ、有効な改善対応の取り組みを行うために、今後、把握した内容の分析・検討を行い、具体的な改善に反映させる仕組みの整備に期待したい。</p>		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>苦情解決の体制が整備され、文書の配布や掲示で保護者に周知されている。今後は、周知の工夫を行い、利用者等への理解の促進を期待したい。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>誰にでも相談できる環境が整備されていることを、保護者にわかりやすく周知することを期待したい。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>保護者が相談や意見を述べやすいように配慮し、相談対応マニュアルに沿って、全職員が迅速に対応し保育の質の向上につなげている。</p>		

Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>事故報告・ヒヤリハット報告や事故が多発する場所を示した危険箇所マップ等を職員間で共有し、事故の予防や再発防止に努めている。今後は、事故防止策の実施状況や効果について、組織としての定期的な評価・見直しを期待したい。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>感染症対応マニュアルを作成し、園内研修を通して衛生管理や発生時の対応等を全職員に周知している。保護者への周知等も迅速に行われている。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>災害の様々な場面を想定した災害対応マニュアル、法人全体の事業継続計画が整備され、子どもの安全確保のための取組みが組織的に行われている。今後は、備蓄等の整備を期待したい。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>年齢に応じた標準的な実施方法が文書化され、職員会・園内研修等で活用・周知され、実施方法に基づいた保育の提供を行っている。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>職員は、標準的な実施方法が記載された文書をいつでも活用でき、職員会やケース会議等で文書内容の確認を行っている。今後は、必要な見直しを行った際の改訂記録や検討会議の記録と実施方法の定期的な検証・見直しが、組織として継続的に行われることを期待したい。</p>		

Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントに基づく指導計画を適切に策定している。	㉠・b・c
＜コメント＞ 決められた手順で適切なアセスメントが行われ、アセスメント結果を反映した目標や目標達成に向けた保育、個別の配慮・支援の内容にかかる指導計画が策定されている。		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	㉠・b・c
＜コメント＞ 指導計画の評価・見直しを行う体制が整備され、計画に基づく保育実践の振り返りや評価を定期的に行い、職員に周知されている。		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	㉠・b・c
＜コメント＞ 決められた様式に基づき記録が適切に行われ、必要に応じて職員間で共有されている。		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	㉠・b・c
＜コメント＞ 個人情報保護規程に基づき、文書等の情報の取扱い・保存等について管理体制が確立されている。		

A-1 保育内容

1-(1) 保育課程の編成

	第三者評価結果
A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	㉠・b・c

所見欄

保育課程は、児童憲章や児童福祉法等に示されている理念を踏まえ、保育園の理念・保育方針や目標に基づき編成されている。全職員が参画し、子どもの心身の発達過程に応じて、地域の実態や子どもと家庭の状況、保育時間などを考慮し編成している。また、年度末に見直しを行い、次年度の編成に活かしている。

1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果
A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	㉠・b・c
A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	㉠・b・c
A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a・㉡・c
A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	㉠・b・c
A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	㉠・b・c
A-1-(2)-⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	㉠・b・c
A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	㉠・b・c
A-1-(2)-⑧ 障がいのある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	㉠・b・c
A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・㉡・c
A-1-(2)-⑩ 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a・㉡・c

所見欄

木の温もりのある園舎で、園庭には発達に応じた遊具や季節の草木、自然を利用した土山等が整備されている。全体的に穏やかで心地よく安全に過ごせるよう工夫され、子どもの発達や状況に応じた保育環境づくりに努めている。

一人ひとりの子どもの発達や個々に合わせた援助と丁寧な関わりを心がけている。基本的な生活習慣の習得に向けては、発達状況に応じて、適切な時期に主体性を尊重したより丁寧な援助や配慮が行われることを期待したい。

子どもたちが自発的に生活や遊びができる環境を整備し、周りの友だちや大人、地域の人たちに関わったり、身近な自然とのふれあいや社会体験ができる機会を設けている。

乳児保育においては、一人ひとりの子どもの生活リズムを把握し、ゆったりとした雰囲気の中で安心して生活し、安全に探索活動のできる環境整備を保育士等が連携して行っている。

1・2歳児の保育においては、一人ひとりの子どもが、歩行や探索活動を十分にできるような環境整備を工夫している。また、保育士等が子どもの自分でしようとする気持ちや思いを受けとめ、丁寧に関わるように努めている。一人ひとりの心身の状態が把握できるよう、毎日の連絡帳等を活用して、家庭と連携した取組みや配慮を行っている。

3歳以上児の保育においては、集団の中で一人ひとりの子どもが自分の力を発揮し、友だち等とかかわりながら、意欲的に遊びや活動に取り組むことのできる環境整備や援助を行うように努めている。同年齢での集団活動を基本としながらも、異年齢の活動も積極的に行っている。

障害のある子どもの保育では、担任に加え必要に応じて保育士を増やす等、人員配置を手厚くしている。また、専門機関と連携し助言を受けながら、個別指導計画のもと、子どもが安心して生活できる環境を整備している。

長時間保育では、くつろいだり、休息ができるよう配慮している。子どもの状況について、保育士間の引継ぎ方法の工夫を期待したい。

小学校との連携においては、地域の学校との交流会や小学校教諭の園訪問等、子どもたちの学校生活へのスムーズな接続に向けた連携に努めている。保育園での学びが生かされ、より円滑に小学校の生活や学習につながるような園生活や活動の見直しを期待したい。

1- (3) 健康管理

	第三者評価結果
A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	Ⓐ・b・c
A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	Ⓐ・b・c
A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	Ⓐ・b・c

(保育所版)

所見欄

マニュアルに基づき、集団生活の中で一人ひとりの子どもの健康管理を適切に行っている。

健康診断・歯科健診の結果は記録し、職員に周知するとともに、子どもの健康増進や受診・治療のため保護者にも伝えている。

アレルギー疾患等のある子どもについては、医師や保護者と密に連携し、病状の変化や食事の対応における標準的な実施方法等を全職員で共有している。

1- (4) 食事

	第三者評価結果
A-1-(3)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	Ⓐ・b・c
A-1-(3)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	Ⓐ・b・c

所見欄

食育計画を立て、子どもたちの「自分で食べたい」という気持ちを大切に、食事を楽しむことができるような工夫や援助を行っている。また、食に関する興味・関心が広げられるよう、野菜の栽培や収穫等の経験ができる取組みも行っている。

定期的に食育の日を設けて、給食展示やレシピの掲示等を行い、子どもの食生活や食育に関する取組みについて家庭との連携を図っている。

A-2 子育て支援

2- (1) 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	Ⓐ・b・c

所見欄

家庭との日常的な情報交換、参観日や懇談会、行事等で、保育の意図や保育士の思い・考えを伝え、保護者との共通理解を図りながら子どもの成長を共有できるように、様々な機会を通して家庭との連携を行っている。

(保育所版)

2- (2) 保護者等の支援

	第三者評価結果
A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	Ⓐ・b・c
A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害のある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	Ⓐ・b・c

所見欄

日常的なやりとりを通して、保護者との信頼関係を築き、話しやすい環境づくりに努めている。職員間で必要な情報を共有し、安心して子育てができるよう園全体で支援し、相談内容によっては関係機関につなげる体制が整備されている。

虐待対応マニュアルに基づき、虐待等権利侵害のある子どもの早期発見・早期対応を行う体制が整備され、虐待の予防に努めている。

A-3 保育の質の向上

3- (1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）

	第三者評価結果
A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a・Ⓑ・c

所見欄

一人ひとりの保育士等の定期的な保育実践の振り返り（自己評価）を行い、個別の自己評価に基づいた職員相互の話し合い、園内研修の機会を通じた学び合いや保育実践の改善等につなげている。今後は、職員の協働体制の基盤を整備・強化するとともに、園全体での組織的・継続的な保育の質の向上に向けた取組みを期待したい。